

# 今年<sup>げっぺい</sup>は月餅何個食べようかな？（笑）



国際交流員  
ウォン・チンイン・クレオ

菊薫る好季節となりました、皆さんいかがお過ごしでしょうか。  
あっという間に10月になり、2017年も残り3ヶ月です。「光陰矢の如し」ですね！

「一年容易又中秋」。香港にはこんな言葉があります。

これは「また中秋節になりました。早いですね。」という意味です。

せっかく中秋になりましたので、今回は香港の中秋節について紹介したいと思います。

## 「中秋節」って何？

起源は秋の収穫祭だと思いますが、現在は月見をしながら家族の皆が集まって食事をする行事です。ちなみに中秋と言うのは字面の通り、「秋はもう半分過ぎました」ということです。

## 「中秋節」の時は何をしますか？

月見をしたり、月餅を食べたり、提灯や灯籠の展示会へ行ったりします。クレオの家族も皆集まって食事をします。

## 「中秋節」の時必ず食べるものなどありますか？

勿論、月餅です！月餅（広東語ではユッベン）は中秋節の時しか食べません！  
月餅の中身は、主に以下の2種類があります。

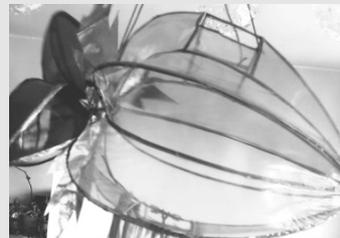
- ①ハスの実の餡と茹でた鹹蛋（鹹蛋は塩に漬けたアヒルの卵の黄身）
  - ②クルミや松の実などの5つのナッツでできた中身（これは広東語で五仁と言います）
- ☆月餅を作るときは砂糖と油をいっぱい入れるため、あまり健康的なものではないです。  
もし月餅を食べるチャンスがあれば、食べ過ぎないように注意してください。

最近はアイスクリームでできた月餅もありますよ！

月餅以外にはスターフルーツ（和名：五斂子）も食べます。果実の横断面は星の形をしているため、英語でスターフルーツと言います（広東語で楊桃と言います）。



◀かわいいうさぎ柄の月餅



◀スターフルーツ形の灯籠

## 「中秋節」は毎年同じ日ですか？

旧暦8月15日ですので、毎年違います！今年2017年の中秋節は10月4日です！昨年は9月15日でしたよ！ちなみに香港では中秋節の翌日が祝日になりますが、中秋節は普通の通勤通学の日です（笑）

**\* 国際交流員 Facebook ページ始めました！**

西ノ島町国際交流員

検索

で検索してね！

# 島前高校だより

ロシアに出かけました

(7月15日〜30日)

私達は、ロシアで過ごした2週間で様々なことを体験しました。

最初の3日間は、それぞれが別の家庭に分かれてホームステイをしました。ロシアに着いて早々、唯一の知り合いである島前高校の仲間と離れるので不安はありましたが、ホストファミリーの方々が空港でとても優しく出迎えてくれたので心が軽くなりました。

私がお世話になったホストファミリーのリリアナは16歳の女の子で、学校で外国語として日本語を学んでいます。日本では英語を学ぶのが一般的ですが、ロシアでは日本語を学ぶことも多いそうです。リリアナと私は、時に携帯の翻訳アプリや辞書を使いながら、コミュニケーションをとっていました。

ホームステイ中、私はリリアナの家族に色々な場所へ連れて行ってもらいました。海軍基地の近くに行つて船に乗ったり、お土産屋さんでマトリョーシカを大量に買ったり、思いっきり観光を楽しんだりしました。リリアナのお父さんは消防士さんで、そのよしみでロシアの消防署見学にも行きました。特に楽しかったのは、食材を買い

に大型スーパーに行ったことです。見たことのない色をしている果物やお菓子、初めて見る食材、道具など…。ロシアの人にとっては観光地でもなんでもない日常の一部なのでしょうが、私にとっては全てが新鮮でした。海外旅行に行つたら絶対現地のスーパーに行こうと決めるくらいでした。

また、リリアナが作ってくれた料理も美味しかったです。初めて口にする外国の味に、実はちよつと覚悟をしていましたが、全く問題なく食事を楽しむことが出来ました。ロシア料理は少しだけ日本の料理に似ているところもあり、親近感を感じる味でした。ロシアでお米を食べられたことも結構嬉しかったです。

初めてのホームステイでしたが、リリアナとその両親は本当に優しく、家で過ごしているときも自然に接してくれて、今まで他人だったとは思えないほどに心地よく生活することが出来ました。



ウラジオストク駅でホストファミリーと

別れた後、私達は10日間のオケアンキャンプに参加しました。オケアンキャンプとは、ロシア全土から、成績優秀で、芸術や運動などで秀でた才能を持つ学生を招待し、様々な学習・体験をして能力を伸ばすためのキャンプのことです。キャンプ地となる場所の敷地全体はなんと西ノ島町くらいの大サイズで、ビーチや運転実習施設、シネマホールなど様々な施設がありました。

ミャンマー、ラオス、韓国、中国などから、私達のように招かれた人達も多くいました。私達は英語やロシア語のレッスンなどの学習、ロシアの女の子達に着物を着せてあげたり、ロシア民謡のカチューシャと一緒に歌ったりする文化交流などをしました。

なかでも北方領土がロシア領土として載っているロシアの地図を見た時はなかなかの衝撃で、ニュースや教科書を読んで分かった気ではいましたが、それはやっぱり分かった『気』だったのだなと痛感しました。



これまで様々な国の方と交流をしましたが、日常的に会話をするということはどんな文化交流にも勝る交流だったなと思います。最初はお互いに緊張して話しかけることも少なかったけれど、3日と経たないうちに気軽に会話をするようになり、違う国籍の人の人柄を肌で感じました。

事前に島前とロシアの関係性や、ロシア人の人柄のことを西ノ島町の「あしたばの会」の佐倉真喜子さんに教えていただいていましたが、そのこと一つ一つが経験を通してよりリアルにしみ込んでいきました。

私はロシアに行く事前学習として、本を読んだり、話を聞いたりしました。それらは知識をつけるうえでよい行動ではありましたが、しかし一番深く、実感を伴って知識を身に着けたのは、ロシアで生活した約2週間でした。ロシアのことを知れたことで、今まで普通だった日本での常識が、世界の常識ではないことに気づき、日本のことを今まで以上に考えるきっかけにもなりました。

ロシアに行くにあたり、学校の先生方をはじめ、「あしたばの会」の皆様など地域の方にもお世話になりました。

このような貴重な体験をさせていただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

島前高校1年 長岡未紗